

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

スズキイクビゴケ

Diphyscium suzukii Z.Iwats.

山口富美夫（広島大学）

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 蘚苔類分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：山口富美夫. 2025. スズキイクビゴケ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Yamaguchi, T. 2025. *Diphyscium suzukii* Z.Iwats.. In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

スズキイクビゴケ

Diphyscium suzukii Z.Iwats.

カテゴリー判定結果 絶滅危惧 I B 類 (EN) B2ab				
基準 A: —	基準 B: EN	基準 C: —	基準 D: —	基準 E: —
B2. 生育地面積が 500 km² 未満であると推定されるほか、次の兆候が見られる。 a) 生育地が過度に分断されているか、5 以下の地点に限定されている。 【地点数】5 地点 b) 出現範囲、生育地面積、生育地の質、生育地点数、成熟個体数のいずれかに継続的な減少が推定・予測される。 【判断理由】 これまでに確認された生育地のいくつかは不安定な環境にあり、生育量も極めて少なく、これまで記録された 4 か所の生育地のうち 1 か所は絶滅した。				
評価分科会： 蘚苔類分科会				

概要

スズキイクビゴケは日本固有で、イクビゴケ属の中では小型のものである。同属の他種からは普通葉の葉身細胞が平滑なことなどで区別される。これまで記録された 4 か所の生育地のうち 1 か所は絶滅した。

基礎情報

【形態】

植物体は直立し、茎は長さ 3～10 mm。まばらに生える。茎は分枝せず、長さ 3～5 mm の細長い舌形の葉を密につける。イクビゴケ属の中では小型で、他種からは、普通葉の葉身細胞が平滑なこと、内側の雌苞葉の葉身上部の縁には多数の毛があり、芒状に伸びだした中肋表面が平滑なことなどで区別される。

【生活史】

雌雄異株。

【生育環境】

常緑広葉樹林の溪谷の粘土質の土上に生育する。

生育環境区分：	【陸域_中標高地】森林
---------	-------------

国土地域区分：	(1) 奥山自然地域
---------	------------

【分布域】

日本固有で、これまでに静岡県、愛知県、高知県、鹿児島県から報告されている。

現在の生育状況

【分布域の現況】

静岡県から新種として記載された。第 2 次レッドリスト作成のための調査では、タイプ産地では絶滅したが近くの別の場所で確認され、高知県の産地では絶滅したとされた。第 3 次レッドリスト作成のための調査では愛知県から確認された。また、小林（2010）は鹿児島県屋久島から報告している。

【生育地の現況】

詳細は不明。

【個体数の現況】

生育量は極めて少ない。

存続を脅かす要因

産地が局限し、個体群の数もサイズも小さい。

要因の区分：	(過去)	分布・産地局限
	(現在)	分布・産地局限

特記事項

生育地の一部は国定公園および国定公園内にある。

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	スズキイクビゴケ	<i>Diphyscium suzukii</i> Z.Iwats.	CR+EN
第4次 2019:	スズキイクビゴケ	<i>Diphyscium suzukii</i> Z.Iwats.	CR+EN
第4次 2018:	スズキイクビゴケ	<i>Diphyscium suzukii</i> Z.Iwats.	CR+EN
第4次 2017:	スズキイクビゴケ	<i>Diphyscium suzukii</i> Z.Iwats.	CR+EN
第4次 2015:	スズキイクビゴケ	<i>Diphyscium suzukii</i> Z.Iwats.	CR+EN
第4次:	スズキイクビゴケ	<i>Diphyscium suzukii</i> Z.Iwats.	CR+EN
第3次:	スズキイクビゴケ	<i>Diphyscium suzukii</i> Z.Iwats.	CR+EN
第2次:	スズキイクビゴケ	<i>Diphyscium suzukii</i> Z. Iwats.	CR+EN
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

愛知県[絶滅危惧 I A 類(CR)]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- Iwatsuki, Z., 1976. Bryological miscellanies. Journal of the Hattori Botanical Laboratory, 40: 139-149.
- 岩月善之助・出口博則・古木達郎, 2001. 日本の野生植物コケ. 平凡社, 東京. 355pp., 192pls.
- 小林亮平, 2010. 屋久島（鹿児島県）で新たに見つかった絶滅危惧藓類 2 種. 藓苔類研究, 10: 56.
- Magombo, Z. L. K., 2003. Taxonomic revision of the moss family Diphysciaceae M. Fleischer (Musci). Journal of the Hattori Botanical Laboratory, 94: 1-86.
- Suzuki, T., Y. Inoue and H. Tsubota, 2015. *Diphyscium* (Diphysciaceae, Bryopsida) species newly found in Japan. Hattoria, 6: 63-73.

アセスメントサマリー（Assessment summary）

Diphyscium suzukii has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Diphyscium suzukii* is listed as EN under criteria B2ab.

B2. Area of occupancy estimated to be less than 500 km², and estimate indicating at least two of a-c:

a. Severely fragmented or known to exist at only a single location. b. Continuing decline, observed, inferred or projected, in any of the following: (i) extent of occurrence (ii) area of occupancy (iii) area, extent and/or quality of habitat (iv) number of locations or subpopulations (v) number of mature individuals	
Habitat types:	【Terrestrial/Freshwater area_Mid-altitude area】 Forest
Threat types:	Limited distribution
Law designation status for conservation	—

執筆者:	山口富美夫（広島大学）
Author:	Tomio Yamaguchi

公表年月：2025 年 3 月